

# 授業科目 教育カリキュラム論

【担当教員名】 宮園 衛	対象学年	②・3	対象学科	栄養・看護(2年)、スポ(3年)
	開講時期	前期(集中)	必修・選択	選択(栄・看)、必修(ス)
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

主に小中学校を中心とする学校教育を対象にして、カリキュラム開発・編成の意義とその実際について、検討することを目的とする。今日、「学校に基盤を置くカリキュラム開発」が志向されている。そして「総合的な学習の時間」の設置等を契機として、カリキュラム編成における学校裁量の拡大と共に、カリキュラムを構想・実践・評価・修正実践するカリキュラム開発の力量が教員の専門的力量としてもとめられている。本講義では、理論と実践の両面から現代のカリキュラム開発の現状と展望を論ずる。特に、後半では生活科・社会科のカリキュラム、「総合的な学習の時間」のカリキュラムを事例に、それらの相互関連等に焦点を当て、学校におけるカリキュラム開発・編成のあり方について具体的に検討する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- カリキュラム開発・編成の原理・方法についての基本的な概念・知識について理解し、説明することができる。
- 生活科や社会科の教科のカリキュラム開発・編成の事例、「総合的な学習の時間」のカリキュラム開発・編成の事例を検討し、カリキュラム開発・編成の基本的な方法を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
	<p>本授業は、集中講義として開講する。このため、15時間分の講義を主に以下の4つの内容で構成する。尚、詳細はオリエンテーションで説明する。</p> <p>(0) オリエンテーション &lt;1時間&gt; —私が学校教育で学んだことの振り返りからカリキュラム論へ— (1) カリキュラム開発・編成の考え方・原理について &lt;3時間程度&gt; (2) カリキュラム開発・編成の歴史と現在について &lt;3時間程度&gt; (3) カリキュラム開発・編成の方法・手順について &lt;3時間程度&gt; (4) 教科のカリキュラム開発・編成と「総合的な学習の時間」の開発・編成の事例の分析・検討 &lt;3~4時間程度&gt; (5) まとめ —試験— &lt;1時間&gt;</p> <p>評価基準と方法 1. 基準 (1) カリキュラム開発・編成に関わる概念・用語について説明できる (2) カリキュラム開発・編成の事例分析・評価し、対案を構想できる (4) 授業に主体的に参加する</p> <p>2. 方法 (1) 毎講義日(4時間程度のまとまり)ごとに提出する講義ノート (2) 毎講義日(4時間程度のまとまり)ごとの講義まとめ小レポート (3) 講義中での作業課題(カリキュラム分析や構想課題)への主体的取り組みとその成果(レポート等) (4) 最終試験(場合によっては、レポート代替もある)</p>		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	文部科学省『学習指導要領解説 総則編』			
参考書				
その他の資料	受講者には、主要参考文献を紹介する。 ただし、以下の文献を事前に購入すること。			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
授業計画又は学習の主題に記載				

看護学科専門